

NOMA 階層別マネジメント研修 モデルプログラム例)

研修モデル プログラム名	ビジネスコミュニケーション多面評価意識改革モデルプログラム ～マネジメントリサーチ『MRI. ビジネスコミュニケーション多面評価』を活用！～	
研修のねらい (到達目標)	ビジネスコミュニケーションについて「研修の事前に調査する」⇒「研修時に持参（配布）し集計する」⇒「領域ごとに本人の気づきをまとめる」⇒「グループ討議で本人の課題に対するヒントを得る」⇒「各領域についての基本知識を習得する」流れで「本人の気づき」から「行動変革」へと促します。 MRIの質問数は50問、5領域（1)上下の2)左右の3)フォーマル4)インフォーマル5)リーダーシップ：コミュニケーション）、調査対象は上司1名、同僚2名、部下・後輩3名、本人です。	
研修期間	標準：2日	
有効対象	中堅社員～管理者、職種転換者（意識改革）等	
研修ポイント	【MRI. ビジネスコミュニケーション多面評価の活用】 ビジネスコミュニケーションを多面的に評価し本人の「気づき」を促す！ ◇四者択一方式。（4 非常に当てはまる ← → 1 当てはまらない） ◇日常行動を意識した質問構成。 ◇大掛かりなリサーチではなく本人の「気づき」を意識した開発（個人評価の題材とはしない）。 ◇他者評価は無記名、他者評価はシールで隠し記入者が他のメンバーの影響を受けないように配慮。 ◇企業内インストラクターにも活用可能。	
モデルプログラム事例		
	1 日 目	2 日 目
オリエンテーション	1. リーダーシップとコミュニケーションの基本理解 2. アイスブレイク 3. 『MRI. ビジネスコミュニケーション多面評価』の分析 分析領域：5領域【①上下の②左右の③フォーマル④インフォーマル⑤リーダーシップ：コミュニケーション】 (1) 事前課題MRI. の集計分析 (2) 5リーダーチャート作成 (3) 本人の「気づき」記入 (4) グループディスカッション (5) グループ発表 (6) 講師コメントと補足講義	4. 信頼関係を築くためのコミュニケーション エゴグラム エゴグラムの作成、分析と検討 ストロークの理解 人間関係分析 5. 面談スキル（講義とロープレ） (講義) (ペア演習) 等 6. 講義のまとめ

上記はあくまでモデルプログラムです。

実施の内容は可能な内容であれば、ご要望に応じてカスタマイズができます。

お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

一般社団法人日本経営協会 東京本部

経営開発グループ

TEL 03-3403-1716

FAX 03-3403-8417

E-Mail tiso@noma.or.jp